飽田南小１５０周年への道
～飽田南小の「むかし」と「いま」を伝えていきます～

飽田南小学校は、来年（令和８年）創立１５０周年を迎えます。節目の年を迎えるにあたり、その歴史や遺産、現在の飽田南校区の様子など調べたことをここで紹介できたらと思います。

② 創立時の学校はどこにあった？　2025/7/25 記事

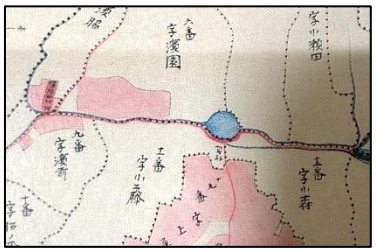
明治９年（１８７２年）に創立した護藤小学校。創立時は現在地と違う所にあったようですが、いったいどこにあったのでしょうか。前回も紹介した学校の沿革史には、

一．（前略）明治九年字**上護藤池沼堤の南側**に小学校を創立し公立護藤小学校と称したり当時尚草創の際なりしを以て其の建物たる実に草葺の拾七八坪にして固より遊歩場などの設もなかりき

…藤富尋常小学校　学校沿革調書より＊現代仮名遣い及び常用漢字に直しています

とあります。しかし、上護藤には現在、池は見当たりません。ん？どこにあった？

調べてみると、明治１２年前後に書かれた「肥後国郡村図」収録の「飽田郡護藤村」図には池らしきものが描かれており、村誌にも以下のように記されている。



湖沼　権藤池　東西二十五間、南北二十七間。周回五十四間。
村ノ北ニアリ。年号不詳。緑川洪水ニテ穿テリ。

図から推察するに、龍王神社から白藤に向かう途中、道がカーブしているところ、左手（北側）に池があったと推察されるので、右手（南側）の六地蔵堂及び市指定のケヤキ辺りに小学校があったと思われます。

なお、上護藤の六地蔵は、昔大洪水ですぐ後ろにあった深い沼に沈んでしまったので、外城（川尻町）から一体持ってきて安置されたと言い伝えられています。このことからも池（沼）があったことは間違いがなく、その後の土地改良で埋められたのでしょうか。